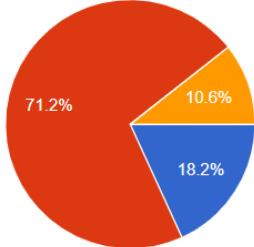
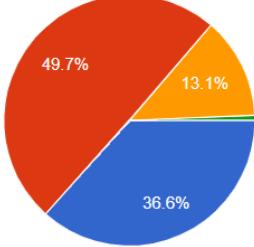
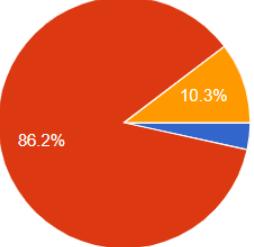
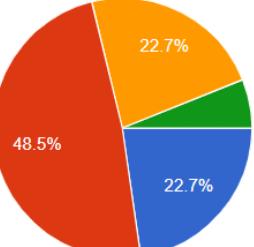
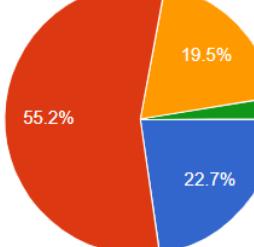
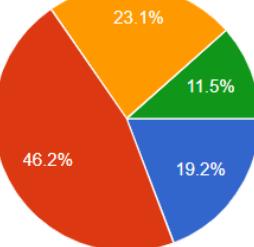
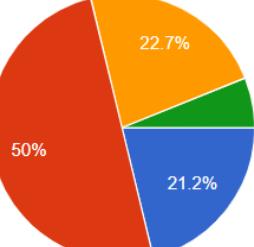
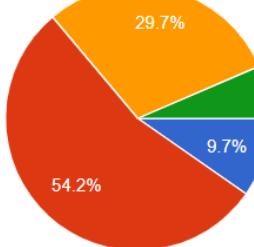
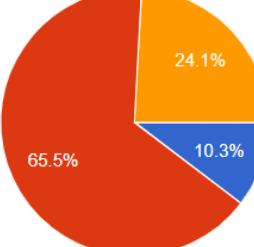
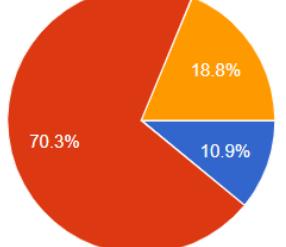
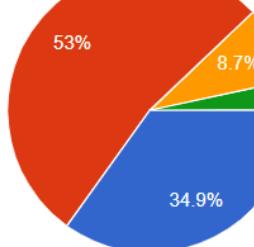
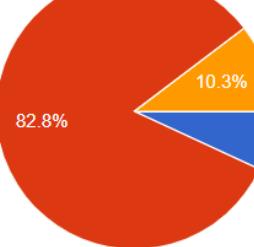
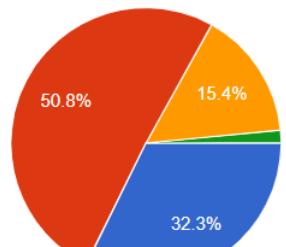
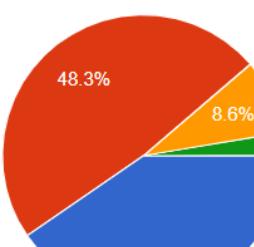
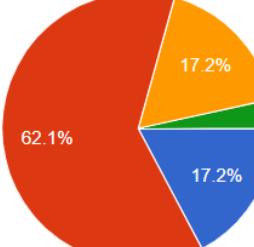
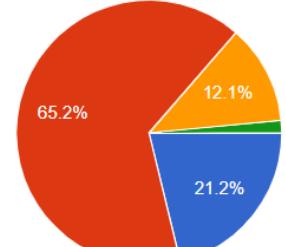
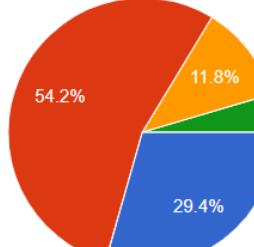
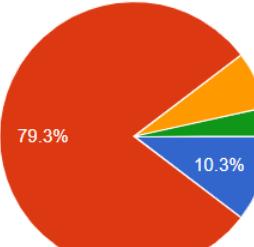
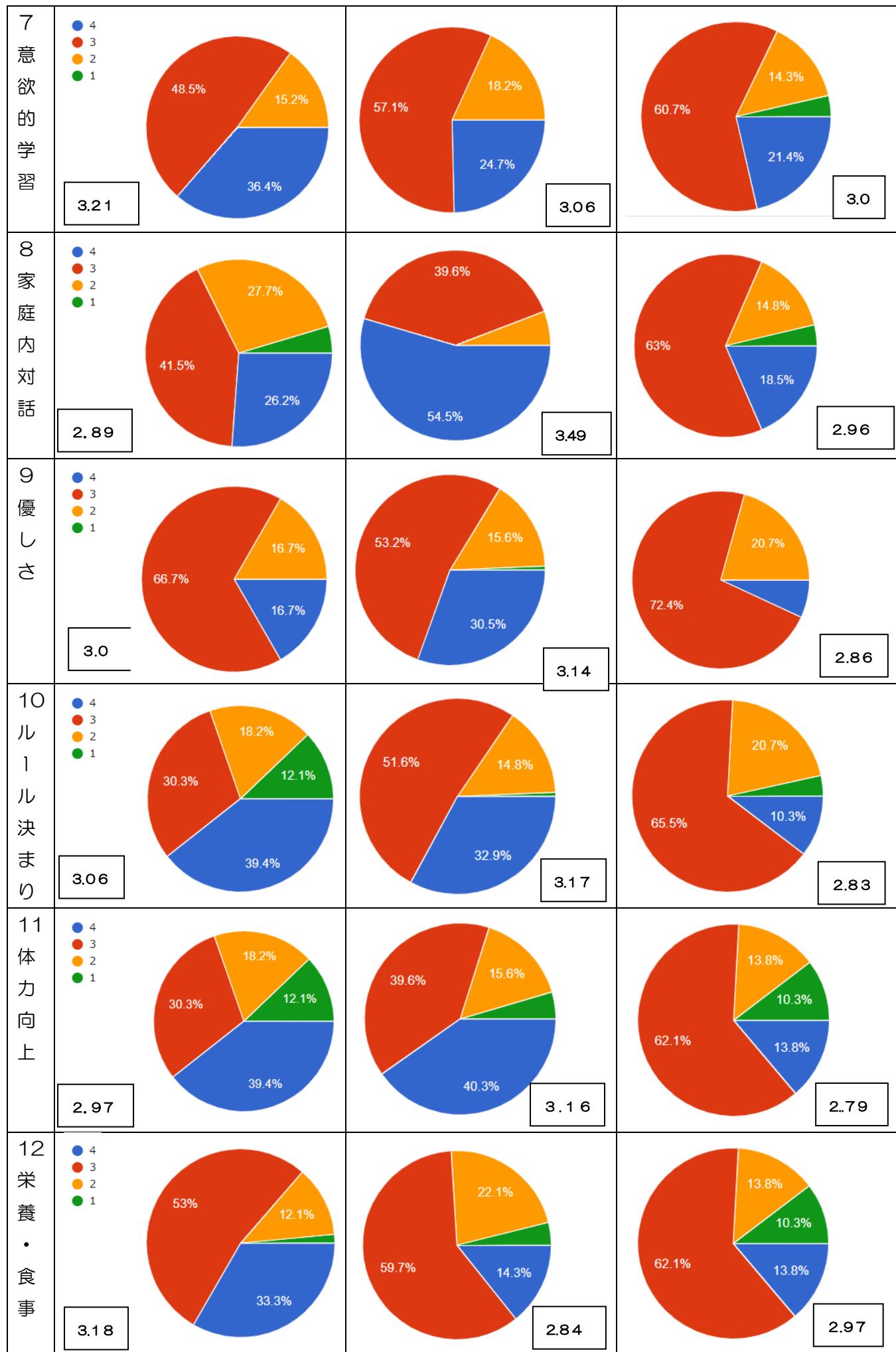
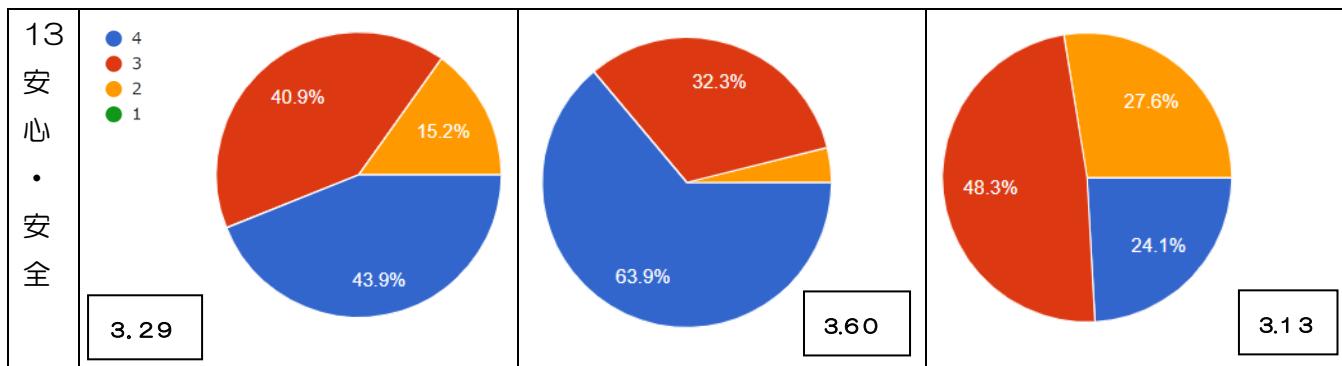


R6学校評価アンケート結果集計

	児童(高学年)	保護者・地域	教職員
1 学 力 や 生 活	 平均 3.08	 3.22	 2.93
2 夢 や 希 望	 2.88	 2.98	 2.73
3 地 域 貢 献	 2.86	 2.67	 2.66
4 コ ミ ュ ス ク	 2.92	 3.19	 2.97
5 家 庭 と 連 携	 3.14	 3.26	 2.93
6 豊 か な 心	 3.06	 3.08	 2.97





【ご意見等・保護者】

- 学校での話をしてくれて楽しく生活出来ているようです！いつもありがとうございます！毎日教頭先生が撮ってくれている写真を見るのが親の楽しみです(^^)
- 時間割等をデータで頂けて、とても助かっているので、他の学年でも同じようにしてもらいたい。
- 強いものに巻かれる大人を見ては失望する。
- あいさつをしたのに、返してもらえないで悲しく感じた。
- 家庭でも基本的な生活習慣や学習、お友達との関わり方等、話して聞かせていますが、学校や児童クラブでもお話いただいてとても助かっています
- 友達とも仲良く遊び、宿題も頑張って取り組めています。言葉の強い友達の言動に傷ついていることが多いですが、学校は元気に通っています。

【よりよい学校作りのために（高学年児童）】

- 校舎や環境の整備（ゴミ拾いやポイ捨ての注意・校舎・公園・学校周辺の清掃・スリッパ並べ）
- 挨拶や礼儀（元気な挨拶・礼儀正しい行動・言葉づかい・優しい声かけ）
- 安全で安心な学校生活
 - ・みんなが安心して楽しく過ごせるようにする
 - ・みんなが安全に過ごせる学校にする
- 思いやりと助け合い
 - ・みんなで助け合い、お互いを認め合う
 - ・みんなが思いやりをもつ
 - ・人の心・気持ちを考え行動
- 地域との連携
 - ・地域のことをいろいろな人へ伝える
 - ・授業で地域と繋がる
- ルールの遵守
 - ・一人一人がルールを守る
 - ・自転車の乗り方やマナーを守る
- 学習環境の向上
 - ・タブレットでの学習を増やす
 - ・新しい取り組みをする
- 学校の雰囲気作り
 - ・みんなが元気で明るい学校に
 - ・みんなが心がけて良い行動を
 - ・みんなが大好きな学校にする

【結果の考察】

1 評価集計

位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
内 容	安心・安全な学校	対話	家庭・地域との連携	基礎的基本力・生活	ルールや決まり	意欲的な学習	コミニ・スクール	思やり・優しさ	地域を大切に思う心	外遊び・体力の向上	栄養バランス・マナー	将来の夢や希望	地域貢献の心
平均	3.46	3.27	3.19	3.15	3.1	3.1	3.07	3.06	3.06	3.06	2.95	2.93	2.74

○ 評価の高いもの（上位項目）

保護者・地域	① 安心・安全な学校(3.6) ②家庭での対話(3.49) ③地域との連携(3.26)
児童	①安心・安全な学校(3.29) ②意欲的な学習(3.21) ③栄養バランス・マナー(3.18)
教職員	①施設安全・金銭的負担(3.8) ②豊かな心・やさしい心・学校理解度・コミュスク・花いっぱい(3.7) ③学びで自信 3.5)

○ 評価の低いもの（ワースト項目）

保護者・地域	①地域貢献の心(2.67) ②栄養・食事バランス(2.84) ③夢や希望(2.98)
児童	①地域貢献の心(2.86) ②将来の夢や希望(2.88) ③対話・話し合い(2.89)
教職員	①将来や夢への希望 (2.73)②体力の向上(2.79) ③ルールやきまり(2.83)

2 全体の考察

- すべての項目において、平均2.7点以上になっていることから、よい学校であることがわかる。
- 安心・安全な学校な学校であることについては3者とも評価が高い。校内での過ごし方が落ち着いていることや、今年度校内外での事故等が少なかったことも理由の一つではないだろうか。ケガや事故等の安全面だけでなく、心理的安全の確保のために積極的な生徒指導の必要性を感じる。
- 平均3点を下回っているものについては次年度重点的に指導を行ったり、改善策を講じたりする必要がある。家庭・地域との連携はとれている（3位）という評価でありながら、地域へ貢献しようという意識は最下位になっている。「わになる活動」等を通してより地域に意識をさせ、活動を広く伝えていくことが必要である。
- 各評価者による評価結果の違いは、教職員が厳しく、保護者は甘い評価になっている傾向にある。（児童はその中間）保護者と教職員の差があるのは、教職員が児童といいる時間が長いことや、まだまだ学校の児童情報が伝わっていないことが考えられる。また、児童は経験が足りないことや、比較対象がないこと、メタ認知（自分自身を客観的に理解すること）ができていないことがその理由だと考えられる。
- 共通認識できているものについては、「なぜそれができているのか。」を考え、よさとして認め合えるようにする。また、意識に違いがあるものについては、児童や保護者に児童や学校の情報を確実に伝え、3者の共通理解を図る機会をつくり現状認識ができるようにする。

3 分野ごとの考察（○成果 ●課題）

（1） 地域との連携（教務部）

【考 察】

- 地域を活用した学習を生活・総合的な学習の時間の年間指導計画に組み込み、各教科と関連させながら学習を進めることができた。
- 少しづつではあるが、コミュニティ・スクールへの理解度が上がっている。
- HPの活用が家庭・地域へ伝わりつつある。
- 地域の人材や場所、物、行事等を積極的に活用できている。
- 地域と保護者、教職員のつながりがまだ薄い。
- 授業の中でも地域に貢献できる活動の機会を増やしていく。
- 体験活動が多く実施されている。感想だけで終わっているのがもったいない。

【手立て】

- ・ コミュニティ・スクールについて、丁寧に説明していく。学校経営方針をもとにした、本校ならではの総合的な学習の時間の学習の進め方や、年間計画についての説明・協議を行う。
- ・ 情報をより正確に伝えるために、HP やメールシステムを更に活用する。家庭で日々の学校の様子を話題にしてもらえるようにする。
- ・ 学習の一環として地域を大切にできる意欲を高めることができるように総合的な学習の時間のマネジメントをしていく。
- ・ つながりを深める企画運営を拡大熟議でともに考え実践していく。
- ・ 地域の人との出会いを意図的に繰り返し仕組むことが必要である。その活動で、自分の存在感や所属感、有用感などの自己肯定感を高めるようにする。
- ・ 教師も地域の素材（自然・人・歴史など）に進んで関り、地域を知り児童とともに学びながら生活科や総合的な学習の時間を充実させる。
- ・ 地域の活動に参加できる機会や場を、教育課程の中に明確に位置付ける。
- ・ 地域の人や外部人材を活用しながら、できるだけ多くの人とふれあい、多様な考えに触れさせていく。

（2） 学力について（学習部）

【考察】

- 学習に集中して取り組もうとする児童が多い。静かに教師の話を聞くことができる児童は多いが、主体的に学ぶ児童の姿が見られる授業までには至っていない。
- 授業の工夫で自分の考えを積極的に話したり、対話したりすることへの抵抗が小さくなってきた児童も見られている。
- 周りの状況に応じて自分の考えを伝えようとする高学年の児童の姿も見られる。
- 学年の発達段階でそれぞれに成長が見られる。真面目で落ち着いた学習ができる児童が多い。
- 対話学習を中心に据え、授業改善が進んでいる。
- 自信をもつことができていると感じる児童が少ない。単元計画の中で評価計画をしっかりと立て、できたことをしっかりと評価したりさせたりしていく。
- 学習習慣が身に付いていると感じている保護者が多いが、教職員と意識のずれが見られる。
- 自分の考えを相手に十分に伝えることが難しい児童が多い。
- もっと話し合い活動などの機会を通して、自分の考えを表現する力を向上させる機会や手立てが必要。

【手立て】

- ・ 教育目標や学級目標を定期的（学期ごと、月ごと、行事ごと、授業ごと）に児童に振り返らせ

る。1コマの授業の振り返りの時間を大切にして自信をもたせる。

- ・ 幸せ（ウェルビーイング）について機会を捉えて話す。
- ・ 対話的な学びの実現のため、対話の機会を繰り返しながら増やしていく。対話や話し合い活動、発表の仕方等、児童が自分の考えを自分の言葉で表現する活動を積極的に設ける。
- ・ 授業の目標や進め方を自分で決めることができる、またそれを自己評価する学習指導課程の取組を行う。
- ・ 校内研究を継続し、対話中心の学習活動を単元計画の中に位置付け、意識して指導を行う。
- ・ 今求められている学力はどのようなものかを教職員で学び、それを保護者や児童と共有する。
- ・ 家庭学習（宿題も含めて）の内容を自分で考え選べるようなものにしていく。
- ・ より効果的なタブレットを使っての学習方法や、ICT活用を行う。
- ・ 評価をしっかり保護者に伝えていく。
- ・ 目的意識及び相手意識をもとにした感想（ふり返り）になるような指導の工夫で「地域一ヶ岡を愛する児童の育成」という教育目標の達成につなげていく。

（3）生活面について（生徒指導部）

【考 察】

- やさしい言動も多く見られる。特に6年生が1年生の面倒を見る場面をよく見かけた。
- 日常（家庭）体験が少なくなっている現状がある一方で、授業の中で体験活動を取り入れて頂き、よい経験になっていると思う。
- 地域の素材に目を向けた体験活動を、積極的に学習へと取り入れているが、地域を愛する児童がまだ少ない。
- 生活リズムが整っていない児童や、朝食を食べずに登校する児童がいる。

【手立て】

- ・ 地域の学習や外交外部の方との学習活動の経験が、児童同士の思いやりを育んできていると感じる。
- ・ 学校教育の中で、褒める・認める声かけを重視する。（その場で褒める・みんなの前で認める）
- ・ 少人数だが、支援を必要とする児童がいる。今後も児童の様子を日々共有し、全職員で見守る組織づくりが大切。

（3）健康体育面（保育部）

【考 察】

- 体育科学習では、スクールプランをもとにして、重点項目を設定し活動できた。
- 学年の目標数値を設定させ、その向上をはかる手立てについて年間を通じて行って体力が向上した。
- 外遊びを奨励し、昼休みに運動場で元気に遊ぶ姿が見られた。
- 各種避難訓練や防災学習の取組で、児童や職員の防災意識は高まっている。
- ゲームやネットに関しては各家庭でしっかりルールを決めて対処してほしい。
- 体力テストの結果は決して高いとはいえない。
- 残食はそれほど多くはないものの、学級で大きな差がある。

【手立て】

- ・ 各学期で提示し、その都度評価する。また、児童にめあてと振り返りで伸びた実感をもたせ、運動好きな児童を育てていく。
- ・ 体力テストの結果を受け、各自の課題に応じた目標を児童が設定する機会を設ける。また、教師の継続的な評価・保護者への啓発が必要である。

- ・ 食事マナー等については家庭と連携して指導を行う。

(5) その他（事務部）

【考 察】

- 技術員の日々のはたらきで非常に環境が整っている。安心・安全な学校環境となった。
- 学級会計については、事務の仕事ぶりが正確で迅速・確実な対応で保護者からの信頼度が高い。
- 施設・建物が老朽化で対応が難しい。

【手立て】

- ・ 運動場整備はかなりの労働である。無理なく進めていく。
- ・ 今後も集金が滞ることがないよう協力を呼び掛けていく。
- ・ ペーパーレスについては少しずつ浸透している。HP やマチコミメール等を活用しながら適宜活用していく。
- ・ コミュニティ・スクールの予算をうまく活用していく。